

製品名: CD43 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe87509

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:40 kDa; Observed MW:115 kDa

抗原情報

遺伝子名	CD43
別名	LSN; CD43; GALGP; GPL115; LEU-22
遺伝子 ID	6693
SwissProt ID	P16150
免疫原	ヒト CD43 の組み換えタンパク質

背景

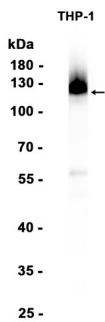
この遺伝子は、T細胞の抗原特異的活性化に機能する高度にシアル化された糖タンパク質をコードし、胸腺細胞、Tリンパ球、単

球、顆粒球、および一部の B リンパ球の表面に存在します。ムチン様細胞外ドメイン、膜貫通領域、およびカルボキシ末端細胞内領域を含みます。細胞外ドメインはセリンおよびスレオニン残基の割合が高く、広範な O-グリコシル化を可能とし、1つの潜在的な N-グリコシル化部位を有します。一方、カルボキシ末端領域は、活性化シグナルの伝達を媒介する可能性のあるリン酸化部位を有します。このタンパク質には様々な糖鎖型が報告されています。刺激を受けた免疫細胞では、一部の細胞種において細胞外ドメインのタンパク質分解切断が起こり、可溶性の細胞外断片が放出されます。この遺伝子の発現異常は、ウイスコット・アルドリッチ症候群と関連しています。 [RefSeq 提供、2017年9月]

研究分野

-

画像データ



CD43 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した THP-1 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。